世界に羽ばたく国際都市
泉佐野市
IZUMISANO CITY

NEWS RELEASE
報道関係者各位

大阪府泉佐野市
2025年8月22日

“地場産品基準と共存共栄”“みんなで創る地場産品” ふるさと納税型クラウドファンディング

2025 年度「＃ふるさと納税３.０」が始動してます。

✓ 本日（8/22）時点で、2025 年度は 16 件の新規プロジェクトが寄附募集中です。

泉佐野市（市長：千代松 大耕）は、2025 年度に新たにスタートさせた、ふるさと納税型クラウドファンディング「＃ふるさと納税３.０」のプロジェクトに対する寄附募集（資金調達）が 16 件となりました。

それらの中には、新たな地場産品として、地元の現役シラス漁師が車海老「泉州車えび」の陸上養殖＆ブランド化に挑戦するという魅力あるプロジェクトも立ち上がっています。

本市は北海道や九州のような１次産業の産品に恵まれた地域であるとは言えませんが、だからこそ、これまでも事業者様の創意工夫により、『熟成肉』をはじめとした数々の地場産品が生み出されてきました。

「＃ふるさと納税３.０」は、この動きを加速するべく本市が発案した取り組みで、新たな地場産品の創出を目的に 2020 年 11 月から実施しており、2020 年度は、約 5.5 億円、2021 年度は約 21.7 億円、2022 年度は約 43.1 億円、2023 年度には約 51.3 億円、2024 年度には約 64.1 億円、5 年間の累計で 185 億円を超える資金調達に成功する等、年々注目度を増してきております。この取り組みにより株式会社ヤッホーブルーイング（代表取締役社長：井手 直行）の体験型ブルワリー（「ヤッホーブルーイング大阪醸造所 よなよなビアライズ」は 2026 年夏までに開業予定）誘致をはじめ、多くの新たな地場産品を創るプロジェクトの事業化に成功しています。

また、2025 年 3 月に開催された説明会には、51 社

（約 95 名）を超える参加をいただきましたが、この取り組みは企業や個人事業主等だけでなく、多くの自治体の議会や職員からも視察やお問い合わせをいただいており、既に他の自治体においても同様の取り組みが実施される等、全国に広がっています。

6 年目となる 2025 年度は、日本のタオル産業発祥の地である本市が世界に誇る「泉州タオル」関連のプロジェクトが 6 件スタートしています。新しい産業の創出とともに大切な地場産業も「＃ふるさと納税 3.0」の補助金制度（地場産品創出支援事業補助金・中小企業者支援事業補助金）を活用しながら支援してまいります。

＜#ふるさと納税３.０とは？＞

「＃ふるさと納税３.０」は、ふるさと納税型クラウドファンディング（以下：CF）の一種で、企業（又は個人事業主等）と自治体が共同してプロジェクトを立ち上げ、ふるさと納税の寄附者による支援により、新たな地場産品を創り出す仕組みです。本取り組みは、地場産品を創出することで、新たな産業を生み出し、新たな雇用を創出し、地域の活性化を目指すものです。また、新たに創り出された地場産品をふるさと納税の返礼品として提供いただくことで寄附の増大にもつなげます。

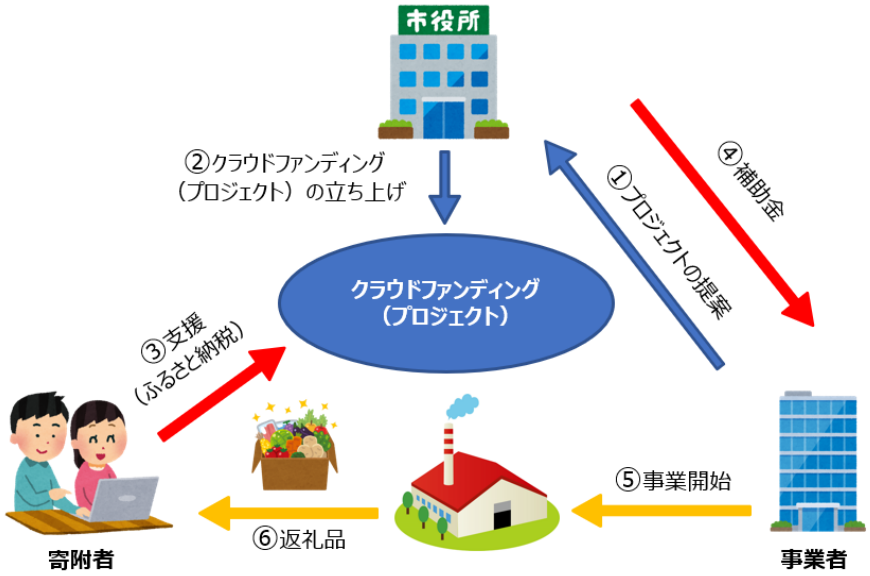
具体的には、市内で新たな地場産品を製造、加工、開発いただける事業者を募り、プロジェクト単位でふるさと納税型クラウドファンディングを実施します。寄附金が目標に達成した事業者に対して、寄附金の 40%を事業開始（イニシャルコスト）に対する補助金として交付します。

事業者は、新たな事業展開のための資金調達が出来ることはもちろん、新規事業としては不安なスタート時の売上げについても CF 実施時に一定の受注が確保できるほか、CF 終了後はふるさと納税に参画することで、継続して受注が見込めるというメリットがあり、企業や個人事業主のスタートアップ支援となります。

また、この取り組みは、ふるさと納税制度で定められた「地場産品基準」により、地場産品資源の豊富な自治体とそうでない自治体に格差をもたらしている問題にも対応していけるものと考えています。

＜#ふるさと納税３.０スキーム図＞

① 事業者が市に対し新たな地場産品を創るプロジェクトを提案
② 市にプロジェクトが採択されれば、CFを立ち上げる
③ 寄附者は応援したいプロジェクトにふるさと納税（寄附）で支援をする
④ 目標額を達成すれば、市から事業者に補助金が交付される
⑤ 事業者は、事業を開始する
⑥ 事業者は、プロジェクトを応援いただいた寄附者に新たに創り出した地場産品を返礼品として贈る



＜なぜ、３.０なのか？＞

「＃ふるさと納税３.０」は、泉佐野市が考える独自の概念です。ふるさと納税は、2014 年頃から、返礼品による「還元（お得感）」がフォーカスされ一躍ブームに発展しました。このフェーズを「ふるさと納税１.０」と考えています。その後、返礼品による寄附誘引が批判されるようになり、災害復興を支援したり、地域問題解決のための資金を調達したりする GCF（ガバメントクラウドファンディング）等、ふるさと納税で「応援（支援）」する仕組みが生まれました。このフェーズを「ふるさと納税２.０」と考えています。

しかし、ふるさと納税による応援や支援の輪は広がりつつありますが、返礼品を目的に寄附をされるほうが圧倒的に多いのが現実です。そこで、１.０の「還元」と２.０の「応援」の要素を組み合わせたハイブリッド型として考案したのが「＃ふるさと納税３.０」です。「還元」という返礼品の魅力はそのままに、企業や自治体を「応援」するという要素が合わさるため、これまでの返礼品のみによる寄附誘導の仕組みでは困難であった寄附者と地方のつながりを強くすることが実現でき、より多くの共感をいただけるものと考えています。

現在のふるさと納税は、地場産品規制の影響もあり、北海道や九州など地場産品資源の豊富な地域に寄附が集中するという二極化の状況にあります。しかし、「＃ふるさと納税３.０」は、集まった寄附金で全ての経費を賄うスキームであるため、自治体が置かれている環境にあまり左右されず実施可能な取り組みと考えています。

この取り組みが全国の自治体に広がるようにとの想いを込めて「＃（ハッシュタグ）」を付け加えています。

＜2025 年スタートした各プロジェクトの概要紹介＞

▶現役漁師が挑戦！ブランド海老創出プロジェクト！

【プロジェクト概要】
プロジェクトオーナーは泉佐野市の北中漁港を基地とし、40 年以上しらす漁に携わってきた現役漁師。自分の知識や経験を活かし、地元の地域活性化に貢献できることはないかと考え、地元の漁業を後世にも伝えるためには、獲るだけではなく、育てることも大事だと思い至り、たどり着いたのが、今回チャレンジする「車海老」の養殖です。
現役漁師の新たな分野への挑戦、ぜひご賛同・応援の程、よろしくお願いいたします！

▶物流拠点新設プロジェクト！！！

【プロジェクト概要】
「返礼品の提供スピードの迅速化」を実現するため、２工場からの配送、保管、荷役、包装、出荷までの業務を一元化するため、冷凍倉庫を併設する物流拠点を新設します。短納期かつ明確な配送スケジュールで返礼品をご提供することで、寄附者様に選んでいただける事業者を目指します。応援を宜しくお願いいたします。

▶タオル産地を救え！高機能ミシン導入プロジェクト

【プロジェクト概要】
ミシンを扱える職人の高齢化と後継者不足の中、タオル専用のミシン自動機を導入し、生産効率を向上させることで、安定した製品の供給を目指します。また、手動のロックミシンを導入することで、自社で作業者育成を行い、より付加価値の高い製品の開発、製造を行っていきたいと考えております。
これからも魅力的な製品を開発していくために、ご賛同とご支援をよろしくお願いします！

▶菜's 牛タン生産性向上プロジェクト

【プロジェクト概要】
ふるさと納税返礼品市場において牛タンは人気返礼品であり、引き続き寄附者の皆様からご支持をいただくためには、牛たん製品のさらなる品質向上と、製造体制の強化が不可欠であると考え、工場に最新鋭の機器を導入します。このプロジェクトにより製造スピードだけでなく、品質においても妥協せず、他の追随を許さない製品品質と生産効率の向上を図りたいと考えています。
是非、ご賛同、応援をお願いいたします！

▶もっと早く！え～品をみんなに届けるんやプロジェクト

【プロジェクト概要】
今回のプロジェクトでは、急速冷凍機と真空包装機を導入し、製品の省スペース化と保存性の向上を図ります。また、在庫を保存するための冷凍ストッカー及び冷凍冷蔵庫と、作業効率を上げるための作業台も併せて整備することで、ふるさと納税の返礼品の量産及び提供の迅速化を図ります。これまで以上に、ご寄附をいただく皆様に満足していただける環境整備に向けプロジェクトを立ち上げることとなりましたので、是非、ご賛同、応援をお願いします。

▶泉州タオルを世界へ！事業所集約プロジェクト（前編）

【プロジェクト概要】
泉州地域が誇る国産タオル産業は、熟練の職人や工場といった「宝」に支えられてきました。しかし現在、安価な海外製品の台頭により生産規模は年々縮小し、存続の危機に直面しています。この状況を打破すべく、2027 年までに点在する 5 つの事業所を 1 か所に集約し、物流と企画・開発部門を結集することで業務効率を大きく高める計画です。
今回のプロジェクトは前編として物流倉庫を整備することを計画しています。

▶もっとおいもの魅力を広めよう！プロジェクト

【プロジェクト概要】
もっと「もっちりしっとり干し芋」を広げたいと思いから、干し芋専用スライサーなどを導入し生産性の向上を図ると共に、地域の方にも「干し芋を製造、販売している」ことをより沢山の方に知ってもらえるような看板と、要望の多い焼き芋製造のための機器を導入します。
もっと地域の皆様に愛されるよう、もっと多くの皆様に干し芋を好きになってもらえるよう、新しい商品の開発や生産性の向上に取り組みます。
是非、応援、ご協力よろしくお願いいたします！

▶養鰻場新設＆水産物ブランド最大化プロジェクト

【プロジェクト概要】
人気の鰻の蒲焼きの生産をさらに拡大するため、養鰻場を新設し、鰻の養殖に挑戦します。今回のプロジェクトでは養鰻場を新設するにあたり、土地・ビニールハウス・養鰻場設備等を導入します。また養殖した鰻を加工するための加工設備の導入も行います。
養鰻場の新設により泉佐野市の水産物ブランドをさらに拡大・最大化し、さらに急速冷凍機を導入することで、今よりももっと新鮮さと美味しさを保ったままでの全国の皆様へのお届けが実現できると考えています。

▶泉州タオルの安定生産のためのプロジェクト

【プロジェクト概要】
今回のプロジェクトでは、弊社のすべての機械を動かす動力の元となる高圧受変電設備を、災害時に不安がある場所から移設するとともに更新を行い、安定した電気供給を維持し、生産性の向上と災害時にも強い生産体制の確保を図るものです。
これからもお客様に喜んでいただけるタオルづくりに努めていきたいと考えています。
是非ご賛同、応援をお願いします！

▶まほろ屋の新たな挑戦！厨房増設で返礼品製造強化＆ガーデン活用の拡大へ

【プロジェクト概要】
今までの 3 度のクラウドファンディングを通じて、「お客様の声を直接聞ける環境」「フードロスゼロの取り組み」など、まほろ屋ならではの姿勢を評価いただき、たくさんの応援と励ましを頂戴し、確実に成長してきました。
今回のプロジェクトでは、より多くの返礼品を、より早く、より高品質にお届けする体制を整えることで、寄附者の皆さまへの感謝の気持ちをカタチにしていきたいと考えています。
今回もぜひ、応援よろしくお願いいたします！

▶泉佐野発、オーガニックファブリックブランド開発ＰＰＳプロジェクト

【プロジェクト概要】
現在の商品づくりをさらに進化させた「オーガニック」にこだわったサプライチェーンの確立と、皆様とのつながりによりより良い商品を企画製造するための環境整備を目指しています。
厳選された原料を使い、なるべく太陽光発電などの再生エネルギーによって作られた地球環境にやさしい生地を、吸水性、柔らかい風合いを併せ持った泉州タオル製造特有の染色技術により加工し、精魂込めて自社で縫い上げた商品を返礼品として皆様にお届けしたいと思っています。

▶新商品開発プロジェクト

【プロジェクト概要】
「安心・安全」を基本理念に掲げながら、泉佐野市の豊かな海の恵みと国際空港という立地の強みを活かし、新たな価値を生み出す【新商品開発プロジェクト】に挑戦します。この挑戦を通じて、品質のさらなる向上が期待されるだけでなく、生産設備の強化によって供給体制も安定し、これまで実現が難しかった新商品の企画・開発が可能になります。
クラウドファンディングを通じて、皆様とともに魅力ある商品を創り上げ、地域の魅力を全国へ、そして世界へと発信してまいります。

▶泉佐野産高品質タオルの市場拡大プロジェクト

【プロジェクト概要】
今回、新たにプリント機器を導入し、対応力とコスト競争力の強化に取り組みます。日本タオル発祥の地・泉佐野市から、“伝統 × 日本のものづくり”を体現する日本製タオルを、「＃ふるさと納税 3.0」を通じて全国に届けます。130 年を超える職人の技と安心・安全な国産品質を、贈り物としても喜ばれる形で展開し、皆さまの応援で、泉州の伝統ブランドを未来へと繋ぎ、地域の雇用と文化の継承をともに創出します。

▶新たな扉を開く福祉と味わいのコラボレーション泉佐野プロジェクト

【プロジェクト概要】
様々な取り組みを行う中、弊社の事業に無くてはならないパートナーが、就労継続支援Ａ型支援事業所とそこで働くスタッフの方々です。自分達が作る品が商品として流通し、受け取った方々に喜ばれ、さらにふるさと納税を通して地域貢献の一助になっている事に対し、誇りや働き甲斐を感じていただいております。関わる全ての皆様が幸せになれる、この取り組みをより良いものにしてまいりたいと考えておりますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

▶新たな扉を開く福祉と味わいのコラボレーション泉佐野プロジェクト

【プロジェクト概要】
『人生に寄り添う』をコンセプトに、使っていただくブランドは変化しながらも、生まれた時からずっと ShinkoTowel のタオルを選んでいただけるよう、複数のブランドをご用意し、他にはないタオルの使い心地とともに ShinkoTowel としての一貫した世界観をご提供しています。引き続き人生に寄り添うタオルという"ものづくり"と、皆様にタオルブランドの世界観を感じていただける"空間づくり"に取り組んでまいります。応援よろしくお願いいたします。

▶神藤タオルのチャレンジ「職人の技を未来につなぐ」プロジェクト①

【プロジェクト概要】
神藤タオル株式会社は、明治 40 年の創業以来、泉州・泉佐野の地で約 120 年の長きにわたりタオルづくりを続けてきました。2017 年にはファクトリーブランド「SHINTO TOWEL」を立ち上げ、約半世紀前の旧式織機を熟練の職人が使いこなすことで独自の織り構造により、他にはない風合いや肌ざわりを備えたタオルを生み出しています。今回、新たな「ワインダー糸巻機」を導入し、より生産性を向上させることを目指し、「SHINTO TOWEL」を皆様に永く愛していただけるブランドへと成長させてまいりますので、皆様ご支援のほどよろしくお願いいたします。

▶特設サイト「さのちょく」「＃ふるさと納税３.０」プロジェクト一覧

URL: https://furusato-izumisano.jp/3/project.php

なお、「＃ふるさと納税３.０」の提案は、随時受付を行っており、近日中に追加でプロジェクトを立ち上げる予定です。また、現在も複数のご提案・ご相談をお受けしており、今後も多くのプロジェクトが立ち上がる見込です。

泉佐野市では、今後も新たな仕組みをつくりだし、全ての自治体が公平な環境でふるさと納税に取り組めるよう、また制度が健全に発展していけるよう取り組んでまいります。

本件に関する報道機関の問い合わせ先
泉佐野市　成長戦略室　ふるさと創生課　:塩見（しおみ）、中嶋（なかじま）、林（はやし）
Tel: 072-463-1212(代表) / FAX: 050-3488-2033 / Email: furusatotax@city-izumisano.com